

○現代文のコツ！（論理的思考をみにつける）

☆四行小論文で論理の流れをつかむ！

序論

論理がわかると、現代文の点は上がるのだろうか。（問題提起）

本論

すべての現代文のテストは、およそ8割が論理の理解度を問う問題である。大意把握・言い換え・傍線部内容説明など。

（証明・具体例）

結論

したがって、論理がわかれば現代文の点はあがるのである。

（結論）

問題① 原稿用紙に四行小論文を二つ作りなさい。

☆四〇〇字小説で論理（物語の筋道）をつかもう！

場面設定

現代文のわからない受験生 正史が、部屋の模様替えをしていた時、タンスの裏にある、生まれてから一度も開けたことのない、少し小さな押入れがあることに気がついた。そうして恐る恐るふすまを開け、中をのぞくと、一冊の参考書が眠っていた。（起）

物語の始まり

手にした現代文の参考書のはこりを落とし、一ページめくると、そのあまりにも斬新な指導法に、正史は夢中になって読破し、その勉強法の通りに取り組むことにした。（承）

クライマックス

どんな文章にも一読必解できるようになった正史は、東大文学部に進学。しかし、幸せな気分もつかの間、言葉の力を自負しすぎた。自分で言葉の力を制御できなくなった正史は、数人の彼女から愛想をつかさかれ、言葉によって彼女たちを傷つけ、多くの友人を失い、孤独の大学生活をおくることになった。（転）

エンディング

言葉の力の本質に気がついた正史は、生まれてから一度だけ開けてしまった小さな押入れの中にもう一度しまい、タンスで隠すことにした。（結）

問題②

四〇〇字詰め原稿用紙一枚程度で小説を書きなさい。